

平成30年度

鹿沼市環境クリーンセンター ごみ焼却処理施設  
ばい煙等測定結果

測定年月日	単 位	ばいじん	窒素酸化物	硫黄酸化物		塩化水素	ダイオキシン類	燃焼ガス温度	集じん器入口 排ガス温度	排ガス中の 一酸化炭素濃度
		g/m <sup>3</sup> N	ppm	ppm	K値	mg/m <sup>3</sup> N	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	°C	°C	ppm
		基準値	0.15	250	—	8.0	700	5	800以上	200以下
平成30年4月20日	2号炉	0.08	89	49	0.22	11	—	—	—	—
平成30年5月10日	1号炉	0.07	83	16	0.06	10	—	—	—	—
平成30年6月20日	2号炉	0.05	90	53	0.22	13	—	—	—	—
平成30年7月23日	1号炉	0.03	16	15	0.06	16	—	—	—	—
平成30年8月29日	2号炉	0.04	44	5	0.02	4	—	—	—	—
平成30年9月5日	1号炉	0.03	52	18	0.07	40	—	—	—	—
平成30年10月12日	2号炉	0.08	88	12	0.19	5	—	—	—	—
平成30年10月15日	2号炉	—	—	—	—	—	0.21	914	199	18
平成30年10月30日	1号炉	—	—	—	—	—	0.17	865	197	18
平成30年11月9日	2号炉	0.06	40	5	0.08	3	—	—	—	—
平成30年12月3日	1号炉	0.03	39	10	0.15	9	—	—	—	—
平成31年1月15日	2号炉	0.01	71	6	0.09	10	—	—	—	—
平成31年2月22日	1号炉	0.04	66	26	0.39	16	—	—	—	—
平成31年3月26日	1号炉	0.06	32	10	0.15	12	—	—	—	—

単位について

**m<sup>3</sup>N**

Nは「ノルマル」と呼び、0°C、1気圧の標準状態を表す。

1 m<sup>3</sup>Nとは、標準状態(0°C、1気圧)に換算した、1 m<sup>3</sup>のガス量を表す。

**ppm(ピーピーエム)**

「ピーピーエム(ppm)」は試料中の物質の量を100万分の1で表わす単位。

**K値**

硫黄酸化物は、排出口(煙突)の高さに応じて許容排出量を定める方式で規制され、基準値はKで表される。

K値は、政令で定める地域ごとに環境省令で定められ、K値が小さいほど厳しい基準となる。

鹿沼市のK値は8.0に定められている。

**ng(ナノグラム)**

「ナノグラム(ng)」は10億分の1グラムを表す重さの単位。

**TEQ(毒性等量)**

ダイオキシン類は種類によって毒性の強さが異なり、ダイオキシン類としての全体の毒性を評価するために、

最も毒性が強いとされている「2,3,7,8-四塩化ジベンゾジオキシン(TCDD)」の毒性を1として、

この毒性に比較して定められた種類ごとの係数を乗じて合計したものをいう。